

2023年

6月号

NO-96

地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)



2023年

地域リハ支援センター研修始まりました！

今年度も無事に、対面での研修がスタートしました！

感染対策を実施した上で開催しています。講師・受講生の方々、ご協力ありがとうございます。

5/27

摂食嚥下障がいのある方への支援

～薬剤師の関わり方～

(神奈川県総合リハ事業団)



在宅で生活している摂食嚥下障がいのある方に対して、“薬に関する支援”をテーマに開催しました。摂食嚥下障がいに関わる各職種の役割や地域における薬剤師との連携、薬の知識や嚥下能力に合わせた服薬の支援方法などについて、講義や体験を通して学びました。特に服薬体験は、利用者様の気持ちや服薬支援を考えるきっかけになったなど非常に好評でした。

講師	厚木市立病院	薬剤師	徳原 大介 氏
	タカノ薬局	薬剤師	武田 浪広 氏
	神奈川リハビリ病院	PT	小泉 千秋



体験したゼリーの一例で、薬の苦みをとる工夫です

からだにやさしい介助入門

～起居動作編～

(ウィリング横浜)

6/6



普段行う機会の多い起き上がりやベッド上での移動について、動きのメカニズムをふまえた介助練習を行いました。実技が多く、体力を必要とする研修会でしたが、受講生の皆さんは精力的に練習に取り組み、大変充実した研修会となりました。

講師	神奈川リハビリ病院	PT	太田 啓介
	神奈川リハビリ病院	OT	佐々木 貴
	地域リハ支援センター	PT	有馬 一伸



6/10

コミュニケーション支援の実際

(プロミティ厚木)



神経難病を中心に『その方に寄り添ったコミュニケーション支援とは?』をテーマに、支援の心得や事例を通じた具体的な支援方法の紹介、機器体験やグループワークを行いました。講師の先生方の体験談や工夫をビデオで見たこと、文字盤やスイッチ、視線入力の意味伝達装置などの体験、グループワークで多職種の視点を学ぶことができたことなど、コミュニケーション支援の幅が広がる内容でした。



講師	かながわ難病等リハビリテーション支援連絡会	OT	中川 翔次 氏
	医療法人社団芳英会 吉野内科・神経内科医院	ST	山本 直史 氏
	神奈川リハビリ病院	リハエンジニア	柏原 康徳
	地域リハ支援センター	OT	清水 里美



7月・8月の研修会予定



高次脳機能障がいセミナー（小児編）	7月 8日（土）	厚木商工会議所
セラピストのためのハンドリング入門	7月22日（土）	プロミティ厚木
高次脳機能障がいセミナー（理解編）	8月26日（土）	県総合医療会館

研修会は、約2ヶ月前から募集を開始いたします。
詳しくは、ホームページをご確認ください。

リハビリ専門相談 ～最近の傾向～

『膝・股関節が固くなってしまい伸びません。何かいいポジショニング方法がありますか？』

というポジショニングに関する相談は多いです。 なぜ、関節が固くなってしまうのでしょうか？

<考えられる要因>

- ① 同じ姿勢のままていることが多い（ベッド上/車いす上）
- ② からだのどこかに痛みがある
- ③ からだを伸ばす機会があまりない

①～③は、いずれも筋肉が固くなりやすい状態であり、それが関節の固さ（拘縮）につながっている可能性が高いです。

よくみられるポジショニング

膝に枕をはさんでいるが、足の緊張は高い状態（つま先が上を向いている）



筋緊張がゆるみやすいポジショニング

おしり部分～太もも・足先にかけて、足の重さを枕全体で支えるように差し込む



<ポジショニングのポイント>

- ✓ すき間をうめるだけでなく、「からだの重さをクッションにのせる」イメージで差し込む
- ✓ なるべく大きく広い面で支える（大きめのクッションがベター）
- ✓ 差し込んだ後は、「ゆっくり揺らす」などして筋肉の緊張をほぐす

介助者の性急な動きも筋緊張が強くなる要因となるので、
“ゆっくり・やさしく” を心がけましょう！！



